

## 文部科学大臣表彰受賞決定 ～平成25年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）～ 宇土市立走潟小学校、菊池市立旭志小学校、尚綱高等学校、 益城町図書館、おはなしサークル オレンジのとびらが受賞

この表彰は、平成13年12月施行の「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受け、平成14年度から文部科学省が実施しています。これは、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体（個人）に対し、その実績をたたえ文部科学大臣が表彰するものです。

平成25年度の受賞校・図書館・団体（個人）は、下記のとおりです。

### 記

#### 1 表彰式

- (1) 期日：平成25年4月23日（火）
- (2) 場所：独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立オリンピック青少年総合センター
- (3) 時間：午後1時～午後4時15分（予定）

#### 2 受賞校、図書館、団体

##### (1) 優秀実践校

##### ◇ 宇土市立走潟小学校

走潟小学校では、数年前から図書館活動に積極的に取り組み、「図書館づくりプランナー事業」の活用等により子どもたちが利用しやすい図書館環境の充実が図られている。

特に平成24年度は、図書の貸し出し冊数が7418冊(児童1人当たり約66冊)と大幅に増加している。(平成22年度児童1人当たり約27冊、平成23年度児童1人当たり約52冊)これは、授業等で使う調べ学習で使った本は含まず、子どもたちが自ら進んで借りて読んだ本の冊数のみである。司書補による児童へのポイントカードの導入や、「読書パズル」活動等の児童図書委員会による読書キャンペーンを実施することにより、子どもたちの読書に対する意欲や関心が高まり成果を上げている。

その他、保護者・地域の方々と学校職員による読み聞かせの実施、家庭での読書活動につながる講演の開催等、子どもたちが普段から本に親しむ工夫が顕著である。

##### ◇ 菊池市立旭志小学校

旭志小学校は、研究組織に「環境・読書部会」を設置し、児童が進んで物語に親しみ、読むことの楽しさを味わい読み深めるとともに、学力向上につながる読書活動に取り組んでいる。具体的には、関連図書紹介、ブックリスト作成、並行読書、読書ノートなどに取り組んでいる。成果として、図書貸出冊数が月平均一人12冊を上回っており、身近な暮らしの中に読書習慣が培われ、授業で学習した作者や主題と関連した本を探す児童が増えてきている。

また、学校だけではなく、地域と一体となった取組みが実施されている。月1回、保護者や地域住民のグループによる読み聞かせが実施されている。地域の図書館とタイアップし、児童が興味関心も持つような環境作りや本に親しむ時間の確保、PTA主催によるふれあい読書週間の実施等により、読書意欲も高まっている。

学校と保護者と地域が一体となった子どもたちの読書活動に対する意欲を高める活動に取り組んでいる。

## ◇尚綱高等学校

学校全体で読書活動の推進に組織的、継続的に取り組み、生徒一人当たり貸出冊数が、17.1冊(平成23年度)と多い。具体的な取組みとして、朝の10分間読書、LHR・総合的な学習の時間における図書館での読書指導、図書館終礼等、生徒が図書館に足を運ぶような工夫が挙げられる。

また、「朝の読書の指導方法」、「図書館を利用した授業・読書指導の実践報告」等のテーマで全職員対象の研修会を毎年実施し、図書館や読書指導に対する理解を深めている。電子掲示板による新刊案内や全職員による生徒へのお薦めの本ガイドを配付するなど、職員による広報活動も積極的に行っている。

一方、生徒図書委員会活動においても日々のカウンター業務のほかに定例の委員会を開催し、広報・掲示・書架整理等5班に分かれて活動している。特に広報活動では、図書館報や広報紙により読書意欲の喚起を行っている。

## (2) 優秀実践図書館

### ◇益城町図書館

設立(平成21年4月)当初からブックスタートやおはなし会に取り組み、子どもと本のふれあいのきっかけづくりとそのフォローアップを図っている。また、図書館まつり等で、中高生及び大人ボランティア協力のもとに絵本作家と子どもたちとの交流等のイベントを開催し読書の楽しさを伝えている。ボランティアが主体となって企画運営を行い、ボランティアの活躍の場となっている。様々な角度からの多彩なテーマに基づくイベントが開催されており、図書館を魅力的な場所として地域に発信している。

地域の小学校6校、幼稚園2校・保育所5か所へ月に1回配本事業を行っており、図書館外での本との出会いの場を広げている。小学校への配本時には司書が同行し、図書館整備の支援も同時に行っている。

情報誌を小学校向けに年4回、中学校向けに毎月発行し、対象に応じた新刊本や話題本等の情報提供により読書意識を啓発している。

## (3) 優秀実践団体(個人)

### ◇おはなしサークル オレンジのとびら(宇土市)

網田小PTA図書委員、図書ボランティアとして読み聞かせを実施していたメンバーが、わが子だけでなく地域の子どもたちにも、お話の素晴らしさを伝えようと平成16年5月に設立したグループである。

地区公民館と連携し、定期的に講演会、季節のおはなし会等を開催し、読み聞かせが各家庭に浸透するための活動が顕著である。

また、各学期に一度、学校の現保護者ではない地域のお父さんたちが中学生に読み聞かせを行う。「読み聞かせ」だけでなく「言い聞かせ」ができる地域の大人として活動に協力している点が特異である。

「おはなしサークル オレンジのとびら」の活動は、「教育の里・網田」を目指す網田地区の具体的活動として定着している。

問い合わせ先  
熊本県教育庁教育総務局 社会教育課  
家庭教育支援班  
森北(もりきた)、野村(のむら)  
(内線 6696)  
TEL:096-333-2698